

実践事例 No3 テーマ『「さんね学習」による家庭学習の習慣の定着（家庭学習）』

九戸村；山根小学校実践区

<山根小学校「まなびフェスト」における家庭学習についての目標>

- ★学校… (1) 繰り返し練習し、漢字・計算の定着を図ります。学期1回の漢字・計算大会を実施し、全員合格(100%)をめざします。
(2) 家庭学習の習慣をつけます。(さんね学習)
- ★家庭… (1) 教育振興運動(さんね学習)を推進し、家庭学習の習慣をつけます。
(2) 学習環境の整備に努めます。
(3) 前日に学習用具をそろえます。
(4) 読書に親しみます。(親子読書感想文発行)

1 こんな課題が

- (1) 「さんね学習」の内容として、てびきを配布しているが、児童・保護者とも時間だけでおさえる傾向がある。
- (2) 学級の人数が少ないので、友だちからの刺激が少なく、ただこなしているだけという児童が見受けられる。

2 課題解決のための取組内容

- (1) その日の学習内容の復習、学習内容を日常生活の中で発見したこと等の工夫された家庭学習を教室に掲示し、それらを手本とする。
- (2) 特に低学年では、担任が意図する内容で家庭学習に取り組みせ、毎日提出する。プリントを学期ごとにファイルさせる。

3 どんな役割と連携で

保護者

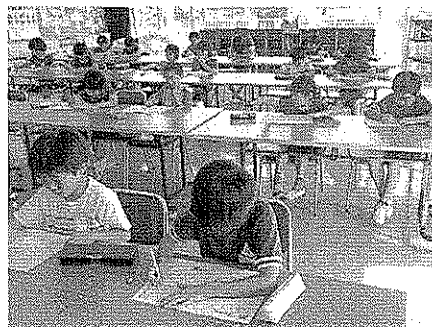
- ・児童と相談しながらテレビを見たり、ゲームをしたりする時間の約束をして、学習に集中できる時間を確保する。
- ・下校後の決まった時間に、家庭学習をする習慣をつけさせる。

学 校

- ・まなびフェストに掲げている漢字・計算大会全員合格が達成できるような内容を、個に応じて家庭学習として指示していく。

4 どんな実践を(昨年度の実践から)

- (1) 学期ごとに漢字・計算大会を、全校で実施した。児童は合格するために、自分の達成状況を確認しながら家庭学習に取り組み、全員が合格できた。
- (2) 毎日提出したプリントをファイルに綴じることにより、自分の1年間の家庭学習を視覚的に実感し、達成感を感じることができた。



漢字・計算大会の様子

5 目標達成度の評価方法は

- (1) 学期末に漢字・計算大会を実施し、その取り組みの状況と結果を学級通信、学校たよりで発信する。
- (2) 学期末に自ら提出した家庭学習プリントファイルを確認する。

6 取り組みのPR

- (1) 小規模校なので、1人1人の家庭学習の状況がよく見え、個に応じた励ましをしています。
- (2) 地域がとても協力的なので、いきいきとした活動ができています。